

甲斐市議会 脱炭素社会推進事業特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和6年8月7日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（7名）

委員長	赤澤厚君	副委員長	樋口孝之君
	安倍健治君		保坂康君
	加藤敬徳君		金丸寛君
	小澤重則君		

欠席委員（1名）

松井豊君

傍聴議員（なし）

説明のため出席した者の職氏名

脱炭素社会 推進監	中込広人君	脱炭素社会 推進課長	石原大助君
政策推進係長	辻俊宏君	事業推進係長	樋渡瑞幹君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中澤一昭	書記	藤井涼子
書記	深澤隼人		

内容

- 1 脱炭素社会推進事業の概要について
- 2 令和6年度甲斐市公共施設脱炭素化設備導入事業について
- 3 その他

開会 午後 1時30分

○書記（深澤隼人君） 改めましてこんにちは。

ただいまより脱炭素社会推進事業特別委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに委員長よりご挨拶をいただき、引き続き委員長の進行により議事を進めてまいります。

それでは、次第の2、委員長挨拶、赤澤委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） こんにちは。

大変猛暑厳しい中、ご参集誠にありがとうございます。

本委員会は、この3月議会で新しく立ち上げた委員会でございます、今日は第1回ということでございます。2年間という我々の任期の中なんですけれども、皆さん方の活発な意見を出していただいて、この事業が成功裏に終わりますようにご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

ただいまの出席委員は7名です。定足数に達しておりますので、これより脱炭素社会推進事業特別委員会を開会いたします。

なお、松井委員は欠席の旨の連絡がありましたので、ご報告をいたします。

○委員長（赤澤 厚君） それでは、次第に入る前に、今委員会が初めてでございますので、職員の自己紹介を最初に行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○脱炭素社会推進監（中込広人君） 4月の人事異動で脱炭素社会推進監を拝命いたしました中込広人と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 4月の人事異動によりまして脱炭素社会推進課長を拝命いたしました石原大助です。どうぞよろしくお願いいたします。

○政策推進係長（辻 俊宏君） 4月の人事異動で政策推進係長を拝命いたしました辻俊宏です。どうぞよろしくお願いいたします。

○事業推進係長（樋渡瑞幹君） 脱炭素社会推進課事業推進係の樋渡瑞幹と申します。2年目になります。よろしくお願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） どうもよろしくお願いいたします。

それでは、これより次第3、内容に入ります。

(1) 脱炭素社会推進事業の概要について、担当より説明をお願いいたします。

石原脱炭素社会推進課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） お疲れさまです。

内容の1、脱炭素社会推進事業の概要についてご説明をさせていただきます。

委員会資料の1ページをお願いいたします。

(1) 脱炭素先行地域につきましては、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門に当たる家庭部門及び業務その他部門の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロを実現し、そのほかのCO₂排出削減についても国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域のことであります。

米印の民生部門につきましては、説明文の下の米印にありますとおり、二酸化炭素排出量に係る部門は、製造部門などの産業部門、自動車などの運輸部門、家庭や事業所などの民生部門に大きく分けられており、民生部門の電力は、再エネなど今ある技術でCO₂排出実質ゼロを実現することが可能であることから、2030年に前倒しをして実質ゼロを達成することとしております。

本市では、令和2年にゼロカーボンシティ宣言を行い、脱炭素化に向けた取組をさらに推進していくため、環境省の第3回脱炭素先行地域に応募し、令和5年4月に選定をされました。

(2) 脱炭素先行地域づくりにおける共同提案者につきましては、脱炭素化に向けた取組は、民間事業者等との連携が不可欠であるため、送配電事業者の東京電力パワーグリッド株式会社山梨総支社及び再エネ発電事業者のグリーン・サーマル株式会社の2者の事業者と連携をして脱炭素先行地域計画提案書を共同提案いたしました。

(3) 提案内容の内容につきましては、「“隼（甲斐）より始めよ”人と資源の循環モデル ゼロカーボンロードで「めぐる」自然とワイナリー」と題し、甲斐市の7つのエリアをゼロカーボンロードでつなぎ、脱炭素化と自然の恵みや観光スポットなどの地域の特性を生かし、観光業の発展並びに農業及び地元産業を活性化させることにより、交流人口の増加を伴う循環型の地域発展を遂げる取組であります。

脱炭素先行地域に選定されたことによりまして、交付される環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金につきましては、交付率が原則3分の2で、最大で50億円の交付を受けることが可能であり、本市が設定したエリア内における設備導入等の取組について、交付金を

活用して推進していくものであります。

詳細、資料の別添1につきましては、こちらの資料は脱炭素先行地域計画提案書の概要版となりまして、市のホームページで既に公表しておりますので、また後ほどご参照ください。

資料の2ページをお願いいたします。

(4) 各部門での実施内容については、公共部門、民間部門、一般住宅の3部門に分かれており、公共部門については屋根への太陽光発電パネル設置、施設駐車場へのソーラーカーポート導入、施設内のLED化やゼロカーボンロード沿いにある既存街路灯のLED化などを図ります。

民間部門については、エリア内の民間施設を対象として、公共部門と同様に屋根への太陽光発電パネル設置、駐車場へのソーラーカーポート導入や施設内のLED化を行うほか、EVコミュニティバスの導入やワイナリーへのグリーンスローモビリティの導入を計画しています。

一般住宅については、エリア内の一般住宅への省エネ診断を実施した上で、太陽光発電パネル、蓄電池、または高性能給湯器等の設置など、各家庭において最適な省エネ設備の導入を推進することとしております。

詳細につきましては、別紙資料の2をお願いいたします。

横判のカラー刷りのものになります。

○委員長（赤澤 厚君） お待ち下さい。

はい、お願いします。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） こちらの資料につきましては、本年2月の厚生環境常任委員会におきましてご説明した資料となります。

黄色の公共施設につきましては、6つに分類されまして、分類の①太陽光導入につきましては、施策の1の施設への屋根置き太陽光発電パネル導入及び施策2の駐車場へのソーラーカーポート導入として34施設を予定しております。

分類の②省エネ機器・設備導入につきましては、施策の3、竜王庁舎のZEB化、施策の4、篠原地区公園内施設のZEB化及び施策の5、施設への照明LED化としまして37施設を予定しております。

分類の③スマート街路灯につきましては、施策の6、ゼロカーボンロードへのスマート街路灯の設置として40基を予定しております。

分類の④熱供給につきましては、施策の7、木質バイオマス発電所の排熱を熱導管によっ

て近隣の百楽泉、双葉給食センター、双葉B & G海洋センターの3施設への供給を予定しております。

分類の⑤E Vインフラにつきましては、施策の8、E V充電器の設置として急速11台、普通6台を予定しております。

施策の9、E V公用車導入及び施策の10のE V導入シェアリングサービス導入として、E V車を平日は公用車として利用し、休日等は市民等に開放するカーシェアを10台予定しております。

分類の⑥B C P対策につきましては、施策の11のV 2 Xシステム導入及び施策の12のP V、蓄電池、E V急速充電器導入として、災害が発生した際、被害を最小限にとどめ速やかな復旧と事業継続ができる体制を整えるため、V 2 Xシステムについては双葉給食センター及び双葉体育館の2施設、P V等については百楽泉、双葉給食センター及び双葉体育館の3施設への導入を予定しております。

次に、水色の民間事業は3つに分類され、分類の⑦太陽光導入につきましては、施策の13、施設での屋根置き太陽光発電パネル導入及び施策の14の駐車場へのソーラーカーポート導入として98施設を予定しております。

分類の⑧省エネ機器設備導入については、施策の15の主要施設カーボンニュートラル化として、日本航空学園の空調設備の見直しやL E D照明の導入を予定しております。

施策の16の照明L E D化として70施設への導入を予定しております。

分類の⑨E Vインフラにつきましては、施策の17のE V充電器の設置として、急速17台、普通88台を予定しております。

施策の18のE Vコミュニティバス、グリーンスローモビリティ及び施策の19のE V導入シェアリングサービス導入として、山梨交通のコミュニティバス2台とワイナリー事業者のグリーンスローモビリティ2台を予定しております。

次に、緑色の一般住宅の分類の⑩カーボンニュートラル化については、先行地域内の一般住宅を対象としており、施策の20、省エネ診断として775戸を予定しております。

施策の21、屋根置き太陽光発電パネル導入及び施策の22の省エネ・蓄エネとなる蓄電池や高性能給湯器の導入として191戸を予定しております。

最後に、灰色のその他として、分類の⑪執行事務については、先行地域の執行事務や進捗の管理費として運営支援業務委託となっております。

それぞれの事業につきましては、表の右側にごございます事業計画の年度に沿って事業を進

めてまいります。

委員会資料の2ページにお戻りください。2ページの(5)からになります。

(5) 温室効果ガス排出の実態と削減目標について、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言しており、2030年度においては温室効果ガスを2030年度比で46%削減を目指すことを表明しております。

脱炭素先行地域では、この2050年までの目標に先駆けて先進的な脱炭素化のモデルづくりを行い、民生部門のCO₂排出量を2030年に前倒しして、実質ゼロを達成することとしております。

本市においては、甲斐市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)で2030年市全域の全部門においてCO₂排出量51%削減を掲げ、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロに向けた取組を推進していくこととしております。

資料の3ページをお願いいたします。

(6) 令和6年度のスケジュールについては、ナンバー1の太陽光発電設備の導入、ナンバー2の公共施設の照明LED化、ナンバー3の公共施設への急速・普通充電器の設置につきましては6月に公募型プロポーザルにより公募を行い、7月に優先交渉事業者を決定して、現在契約に向けた準備を進めているところでございます。

詳しくは、次の案件の内容2において説明させていただきます。

次に、ナンバー4の竜王庁舎ZEB化及びナンバー5のスマート街路灯導入については、手法等検討を進めているところでございます。

ナンバー6の脱炭素先行地域推進支援事業委託については、年間を通じて先行地域事業を推進するための支援業務契約を締結しております。

最下段の補助金交付要綱については、先行地域事業を進めるに当たり、国の交付金を間接補助するため、補助金交付要綱を制定いたしました。

以上、内容の1、脱炭素社会推進事業の概要についての説明となります。よろしくお願いいたします。

○委員長(赤澤 厚君) 説明が終わりました。

これより質疑を行うわけですが、ここで委員並びに職員各位に申し上げます。

質問は一问一答とし、また、質問、答弁は簡潔明瞭にさせていただきますようお願いを申し上げます。

それでは、質疑等がありましたらお願いいたします。

小澤委員。

○委員（小澤重則君） これていきますと、民間への導入等が始まるのは令和8年度から、希望を取って、希望があったところへ充電システムから太陽光からということで、申込みを受けるといふことでしょうか。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 民間の事業者については、今年度から太陽光の導入やLEDは進める予定になっております。それで、一般住宅につきましては、予定では令和8年度から導入を予定してあります。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

金丸寛委員。

○委員（金丸 寛君） 上限50億の補助金が出るという中での事業化ということということで、既に熱供給のところ、ここで木質バイオマスの排熱、これが当初から排熱を農業関係とか周りの施設に利用できますよということていかがですかというようなご提案だったと思うんですが、なかなかこの具体的な数量が出てこなくて、この今の資料によりますと、令和6年度以降ということになってありますけれども、その見通しと、今、一説とていいますか、うわさによりますと、なかなかそれはもう無理じゃないかというような悲観的な見方をする方もいらっしゃるようですが、当局の計画というものをしっかり市民に説明する時期じゃないかなと思ひますんで、その辺を伺っておきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 熱供給につきましては、現在協議を進めてありますけれども、なかなか実行には移れないような状況になってあります。

また、市民活動支援課におきまして、今年度、百楽泉と双葉農の駅の複合施設の基本構想も策定してありますので、また、農業利用も計画書の中でうたっておりますので、それも含めながら、今、検討段階ということて進めているような状況でございます。よろしくお願ひします。

○委員長（赤澤 厚君） 金丸寛委員。

○委員（金丸 寛君） 検討が長く続いているわけなんです、その見通しとして、令和6年度にそういったものが供給可能なのか、7年度へかけて実際そういったものに活用ができるのかというところの見通しくらいは、やはり現段階ではもう稼働しているわけですから、一方では。それを否定的な見方もあるということて前提として、そういうことはないよという

ことの計画性、これをやっぱり表示して開示しておく必要があると私は思いますので、その辺をわきまえた計画というか、答弁もお願いしたいと思います。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 方向性としましては、今年度中に、その熱利用につきましては方向性を出していきたいというふうに考えていますので、もう少し期間がかかるかもしれませんが、令和6年度中にはどのような方法で熱を利用するかということで、方向性は出したいと思っております。よろしく申し上げます。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

樋口副委員長。

○委員（樋口孝之君） 一般住宅のところですね、これも話が出ているんですけども、カーボンニュートラル化ということで、屋根つき太陽光発電でのパネルの導入ということで、ここに右のほうに先行地域内の一般住宅が191戸ということですね。これ先行のほうを優先すると。これこの間も話があったんですけども、それだと甲斐市の皆さんに平等じゃないじゃないかと。やっぱり先行だけでなく、皆さんの一般住宅のほうにも導入していけるというように平等化、恩恵が受けられるようにしていってもらいたいなと思っておりますけれども、どうでしょうか。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 今回、国の交付金を使いまして脱炭素先行地域ということで、このようなメニューを掲載させていただいておりますけれども、市の計画でも、市全域で脱炭素化を図っていかなければなりませんので、地域外への一般住宅への補助なりなんなりをまた今後検討していきまして、ぜひ市全体で脱炭素化が図れるような仕組みをつくっていききたいと思っておりますので。今の段階では地域外のものちょっと今、定めておりませんが、今後進めていく中でそういうものは検討していききたいと思っております。

○委員長（赤澤 厚君） 樋口副委員長。

○委員（樋口孝之君） 地域のほうへ検討していただけるということで、まだその3町で、一般住宅が何戸とかというのはまだそこまでは具体化は出ていないということですね。大体は出ているんですか。今、191なんですけれども、全体でやると、敷島地区がこうだよ、何々地区がこうだよということは出ているんですか。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 対象となる建物が市内に2万戸ありますので、全てが

ということは難しいと思いますので、その中でできる範囲で取り組んでいきたいと思っております。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） 令和6年度のスケジュールで、7月ではもう事業者決定となっているんですけども、決定しているのでしょうか。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） スケジュールの1、2、3のあれですかね。これにつきましては、次の内容2で詳しく説明をさせていただきますけれども、よろしいでしょうか。

○委員長（赤澤 厚君） じゃ加藤委員、次のところで説明するので。

そのほかございますか。

[発言する者なし]

○委員長（赤澤 厚君） 質疑がなければ、委員の質疑は終了いたします。

以上で脱炭素社会推進事業の概要についてを終わります。

次に、（2）令和6年度甲斐市公共施設脱炭素化設備導入事業について、担当より説明をお願いいたします。

石原脱炭素社会推進課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） それでは、資料の4ページをお願いいたします。委員会資料4ページです。

内容の2、令和6年度甲斐市公共施設脱炭素化設備導入事業について説明させていただきます。

令和6年度に実施する脱炭素先行事業のうち、公共施設に省エネ・創エネ設備を導入する公共施設脱炭素化設備導入事業については、（1）事業概要のナンバー1の太陽光発電設備の導入が7施設、ナンバー2の照明LED化が5施設、ナンバー3のEV急速・普通充電器の設置が3施設であり、対象施設につきましては、①の敷島庁舎から⑦の竜王中学校のナンバーの記載が実施事業の対象施設となります。

事業手法等につきましては、6月に3つの事業を一括でリース方式による公募型プロポーザルを行い、2者から提案がありました。プレゼンテーション審査を7月4日に行い、結果通知を7月8日、最優秀提案者との基本協定を7月31日に締結し、現在、各施設の現地調査等を行い、本契約締結予定を8月末に向け、業務を進めているところでございます。

(2) 基本協定締結者につきましては、山梨中銀リース株式会社となります。

(3) 事業期間につきましては、設備導入については契約日から令和7年2月末まで、維持管理・保守につきましては契約締結日から設備の法定耐用年数を経過した日以後における最初の3月31日までとしており、太陽光発電設備につきましては17年、LED照明については15年、EV急速・普通充電器につきましては8年としております。

(4) 提案上限金額につきましては、リース料につきましては2億4,612万7,000円であり、設備機器導入に係る費用の3分の1及び維持管理・保守費用等のリース料金となります。また、補助金交付予定額につきましては、設備機器導入費に係る費用のうち国の交付金となる3分の2の1億8,868万円で、本年度に補助金を支出します。

(5) 事業内容については、公共施設への自家消費型太陽光発電設備の導入、公共施設の照明LED化、5ページをお願いします。電気自動車用充電設備の導入は課金システム等の設定も含まれます。また、事業実施に係る検討、調査、各設備に係る保険、保守・サービスとして、各種点検、部品交換、予防保全等となります。

(6) 今後のスケジュールにつきましては、現在、基本協定に基づき、見積徴取や仕様書協議を含めた契約協議を8月末まで行い、契約締結については8月末を予定しております。また、業者による工事・施工については、契約締結後から令和7年2月末を予定しております。

以上、内容の2、令和6年度甲斐市公共施設脱炭素化設備導入事業についての説明となります。よろしくお願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

それでは、質疑がありましたらお願いします。

加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） 今、リースということをお話を聞いたんですけども、このリース料というのは、これはリース期間が例えば太陽光だと17年とか、それ全てでこの金額という意味合いでしょうか。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 全て含んだ金額となっております。それぞれのリース期間、太陽光ですと17年までの金額で、LEDだったら15年まで、EV充電器だったら8年までということで、そのトータルの金額となっております。

- 委員長（赤澤 厚君） 加藤委員。
- 委員（加藤敬徳君） そうしますと、例えばこれは月払いみたいな感じで支払うんでしょうか。その場合、幾らになりますか、月は。
- 委員長（赤澤 厚君） 樋渡係長。
- 事業推進係長（樋渡瑞幹君） 月払いになりますが、E Vは年間で約850万、L E Dは年間で550万、E V充電器は年間で230万程度を想定しております。
- 委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。
- そのほかございますか。
- 小澤委員。
- 委員（小澤重則君） この国の補助金の予定額、これがリースということであれば、年間とかで払っていくんですが、国から来るお金のほうはどんな処理になるんですか。どこかへプールのするんですか。
- 委員長（赤澤 厚君） 石原課長。
- 脱炭素社会推進課長（石原大助君） これにつきましては、設備導入に係る費用が例えば100万とすれば、そのうちの3分の2を今年度お支払いして、その残る3分の1をリースしていくような予定になっております。
- 委員長（赤澤 厚君） 小澤委員。
- 委員（小澤重則君） ほかの質問ですが、先日、各施設の防水工事が、防水をしてからじゃなければ太陽光を乗っけても、途中で無理が来たら困るということで補正しましたよね。それで、1か所が不調に終わっていますよね、防水工事の契約が。それはどんなふうになりますか。
- 委員長（赤澤 厚君） 石原課長。
- 脱炭素社会推進課長（石原大助君） 入札を行いまして、竜王小学校につきましては、入札業者が1者ですので、取りやめとなりました。また再度、9月に入札を行う予定となっております。
- 委員長（赤澤 厚君） 小澤委員。
- 委員（小澤重則君） 分かりました。ありがとうございます。
- 委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。
- 金丸寛委員。
- 委員（金丸 寛君） 事業概要の中で2つ目に、照明のL E D化ということがうたっており

ます。以前、一般質問等で街灯のLED化、これは大分LED化ができて、金額的、電気料もかなり大幅に削減できたというようなことを聞いております。そのときに、公共施設も含めてというようなたしか質問を私がした記憶があるんですが、街灯のみで、今回こういった計画の中でLED化が具体化するというような状況でよろしいかどうか、その確認です。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 今回ここに示させていただいている5施設については、室内のLED化も進めてまいります。よろしくお願いします。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） すみません、電気自動車の充電設備のところ、課金システム等というのがあるんですけども、これは例えば一般の方も使えるようなシステムにしていくということでしょうか。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） こちらの3施設に設置するものについては、一般開放するものになっております。

○委員長（赤澤 厚君） 加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） もちろんお金を取ってということ。

○委員長（赤澤 厚君） 石原課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） 今の想定ですと、料金を取って使用していただく形になるかと思えます。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

[発言する者なし]

○委員長（赤澤 厚君） 質疑がなければ、委員の質疑を終了いたします。

以上で令和6年度甲斐市公共施設脱炭素化設備導入事業についてを終わります。

次に、脱炭素社会推進課より、その他がありますので、説明をお願いいたします。

石原脱炭素社会推進課長。

○脱炭素社会推進課長（石原大助君） お疲れさまです。

8月の定例会におきまして、竜王庁舎のZEB化につきまして補正予算を計上させていただいておりますので、またご審議のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（赤澤 厚君） 説明が終わりました。

定例会の案件でございますので、質疑等は受けませんので、よろしく申し上げます。

以上でその他を終わります。

引き続き次第4、特別委員会関係のその他を行います。

委員より何かありましたらお願いいたします。

よろしいですか。

[発言する者なし]

○委員長（赤澤 厚君） なければ、続けて事務局よりありましたらお願いいたします。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○委員長（赤澤 厚君） なければ、その他を終わります。

私がちよつと第1回の脱炭素社会ということで、この間ちよつと推進監とも話もしたんですけども、我々もこの事業というのはなかなか内容がよくまだ分かりにくいところがありまして、先進地が結構あるんですね、この関東近辺にも。だから、それに当然、予算が今のところ、うちの特別委員会はないんで、できれば議長と相談しながら財政のほうにお願いして、バス代ぐらいはね、やっぱり車代ぐらいはつけてもらって、できれば近隣の先行、もう去年から、もっと前かな。うちより前に先行している地域があるようなんで、そういったところもちよつと研修に行ったほうがいいのかなどと思っていますので、決まりましたらまた皆さん方に報告しますので。またよろしくお願いをしたいと思います。

また、何でも結構ですので、皆さん方からいろんな気がついたことがありましたら、私なり、また副委員長に言っていただければ、会議を開いて、有意義な会にしていきたいと思えますので、皆さん方のご協力を今後ともお願いできればありがたいと思えますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、脱炭素社会推進事業特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時04分